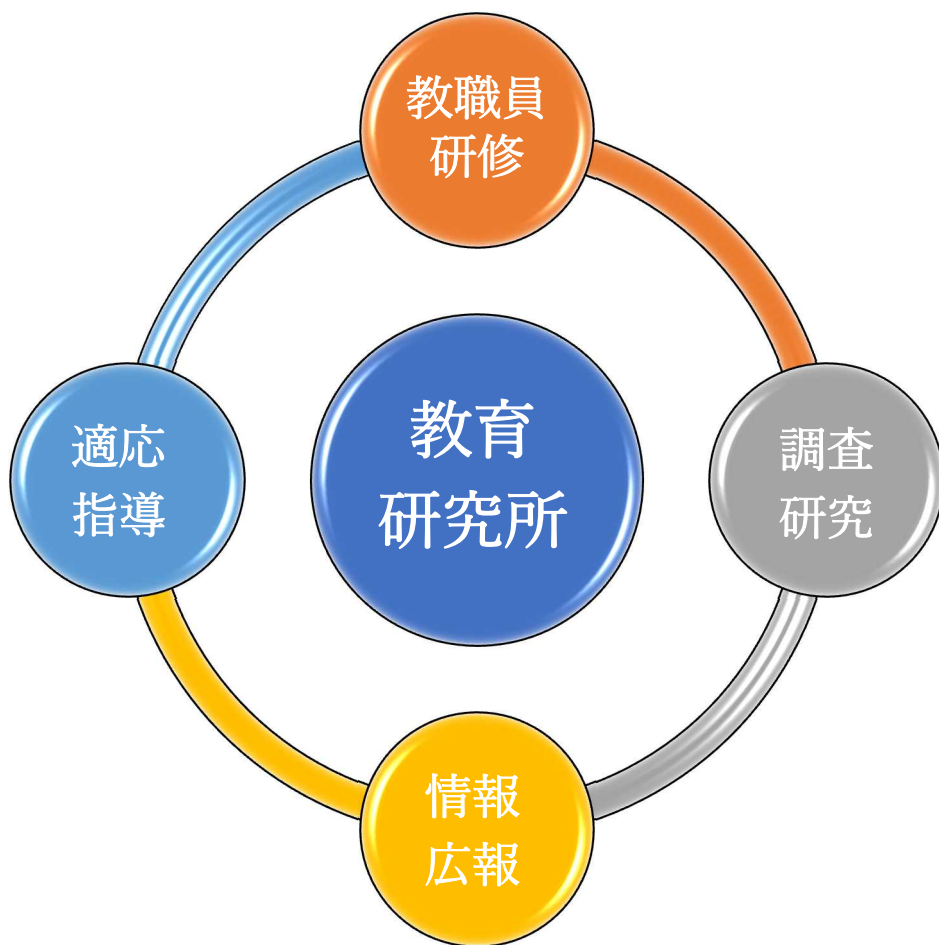


令和7年度

宮古島市立 教育研究所



－ 経営方針 －

宮古島市立教育研究所は、生涯学習への視点に立って、学校教育、社会教育、家庭教育の直面している課題を積極的に取り上げ、教育実践に結びついた教育活動の推進に寄与する。

事業概要

1. 調査・研究事業

- (1) 本市の現状に即した実践的な調査・研究を行い、その結果や成果を学校や教育委員会へ提供する。
- (2) 琉球大学教育学部、上越教育大学、福井大学教職大学院との連携を図り、調査・研究の専門家の助言を得ることにより、学校教育に有効なデータを提供する。

※ 調査・研究項目

○全国学力・学習状況調査 ○学力到達度調査 ○学校課題調査 他

2. 研修事業

- (1) 研究教員は、宮古島市及び今日の教育課題を踏まえた研修を推進し、研究と修養の理念に基づき、教育の専門家としての確かな力量と総合的な人間力を高め、資質の向上を図る。
- (2) 研究教員の研究は、先輩教員や琉球大学教育学部、上越教育大学との連携を図り、研究の進め方等への助言を得ることにより、研究の質の向上を図る。
- (3) 研究教員は、公開授業、報告書の作成、成果報告会により、研究の成果を教育関係者に提供すると共に、研究成果の検証・実践を行い、宮古島市の教育課題解決に資する。

これまでの研究テーマ

令和5年度	小学校 国語科	言葉による見方・考え方を働かせ主体的に学習課題の解決に向かう児童の育成 ～物語文における児童の実態に応じた手立ての工夫を通して～
	中学校 英語科	主体的に学ぶ自立型学習者の育成を目指した授業改善 ～プロジェクト型学習(PBL)の実践を通して～
令和6年度	中学校 社会科	社会を読み解く力を育成する社会科の授業改善 ～自ら問いを立て追求していく活動を通して～
	中学校 社会科	社会の形成者として課題解決に向け主体的に取り組む児童生徒の育成 ～ウェルビーイングを意識し、単元を見通した指導計画の工夫～



第 24 期 池間教論(北中)

令和 6 年度
研究員 修了式



第 25 期 宮國教論(伊良部島中)

3. 情報・広報事業

- (1) 開かれた教育研究所をめざし、効果的な方法で研究所の事業の周知を図る。
- (2) ホームページを通して研究情報を発信し、教育相談室、情報の共有化を図る。
- (3) 市内の研究指定校や県内の教育研究所等の研究紀要を収集整理し、教育関係者に提供する。
- (4) 研究教員報告書、まていだ教室実践報告書を刊行し、教育関係者に提供する。
- (5) リーフレット等を作成し、まていだ教室の機能を知らせる。
- (6) 図書資料を充実し、教育関係者の研究を援助する。

4. 適応指導教室

- (1) 児童生徒一人一人のアセスメントを充実させ、個に応じた援助、指導の工夫改善を行う。
- (2) 教育相談、学習活動、体験的な活動を通して、集団活動への適応を図り、社会的な自立を図ると共に、原籍校への復帰を図る。
- (3) 学校、家庭、各関係機関との情報交換を密にし、連携・協力して、児童生徒の学校復帰を支援する。

※まていだ教室は、心理的要因の不登校児童生徒を支援し、学校生活への復帰を目指します。

※入室には、学校長からの入室願いがが必要です。児童生徒・保護者・学校で十分に話し合い、施設見学や体験入室をして下さい。

宮古島市立教育研究所	
〒906-8501 沖縄県宮古島市平良字西里 1140 番地 宮古島市役所 3 階 TEL 0980-73-1104 FAX 0980-73-7967	

宮古島市立適応指導教室（まていだ教室）	
〒906-0011 沖縄県宮古島市平良字東仲宗根添 2928 番地 旧宮原幼稚園舎 TEL 0980-73-4149 FAX 0980-73-4149 E-Mail matda.385@miyakojima.ed.p	

教育研究所 刊行物・様式	
○ 教育研究所 要覧 ○ 研究教員研究集録 ○ 適応指導教室リーフレット 他	

職 員 構 成			
宮古島市立教育研究所		宮古島市立適応指導教室	
職 名	氏 名	職 名	氏 名
所 長	下地 辰彦	指導教諭	堀田 万紀子
指導主事	福原 保	指 導 員	平良 隆
事 務	知念 成子	指 導 員	松本 美智子